

1時間でわかる

臨床でしか使えない

脳卒中リハビリ

知識と臨床を繋ぐ

脳外臨床大学校

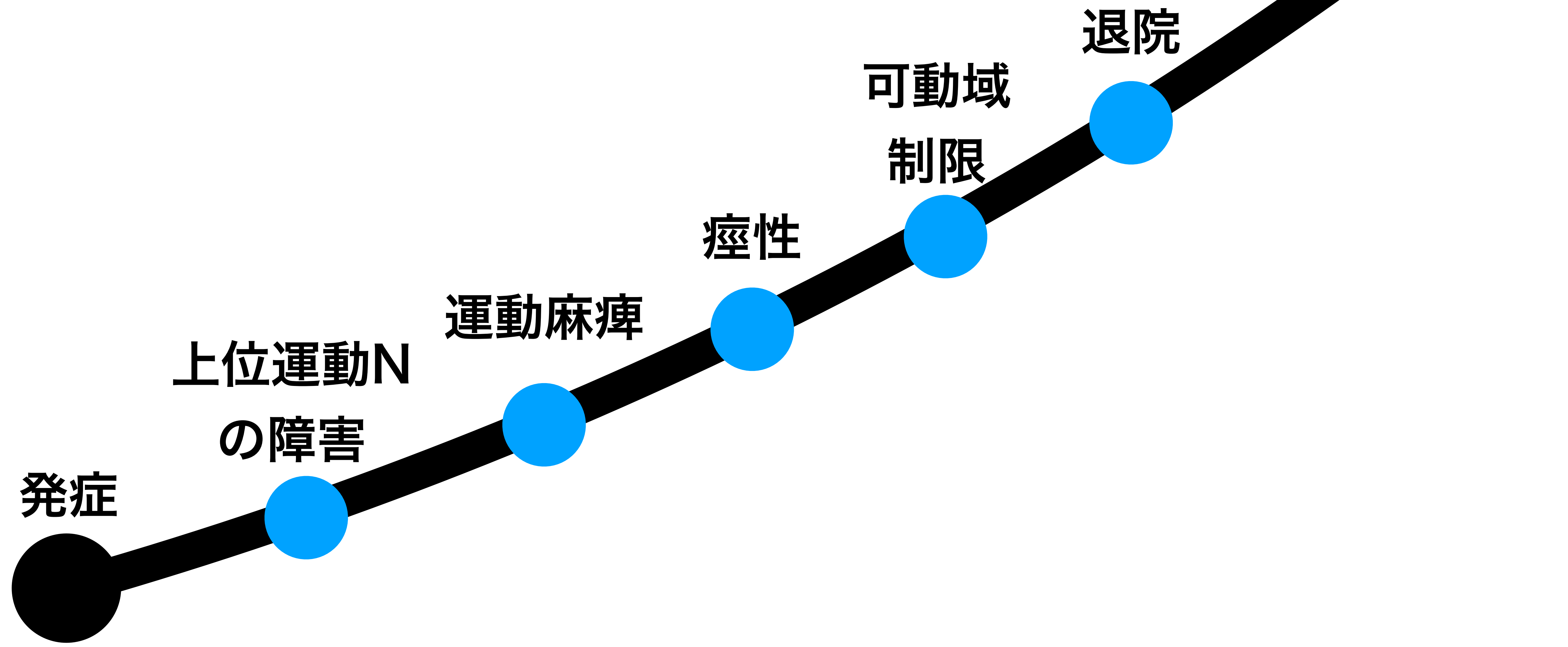
運動麻痺＋痙性の上肢アプローチ③

実践編：肩へのアプローチ方法

- ①脳機能評価のための感覚認知運動 ③スタートのポジショニング
②脳機能の現状評価 ④実技

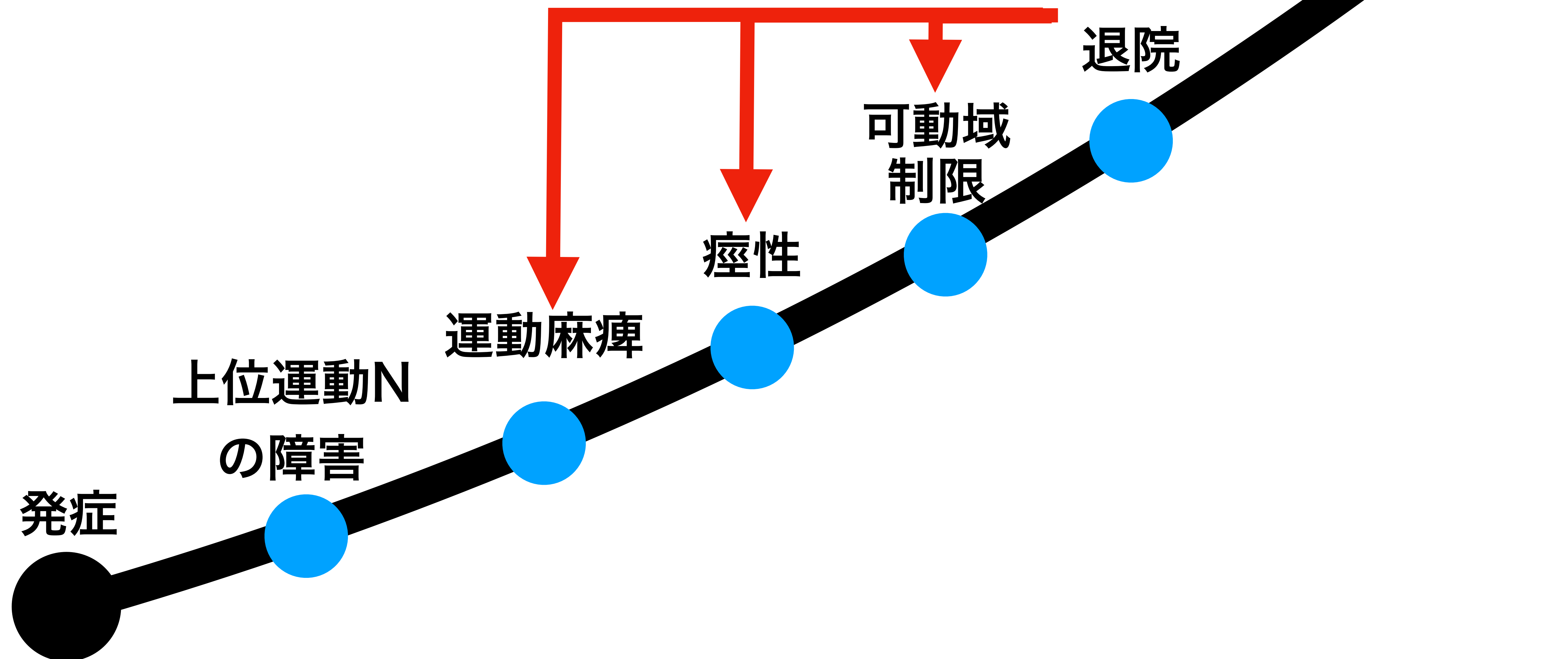
運動麻痺・痙性へのアプローチ

フルリカバリー



なぜ、患者様は退院できないの？

フルリカバリー



何にアプローチすれば改善するの？

フルリカバリー

退院

可動域
制限

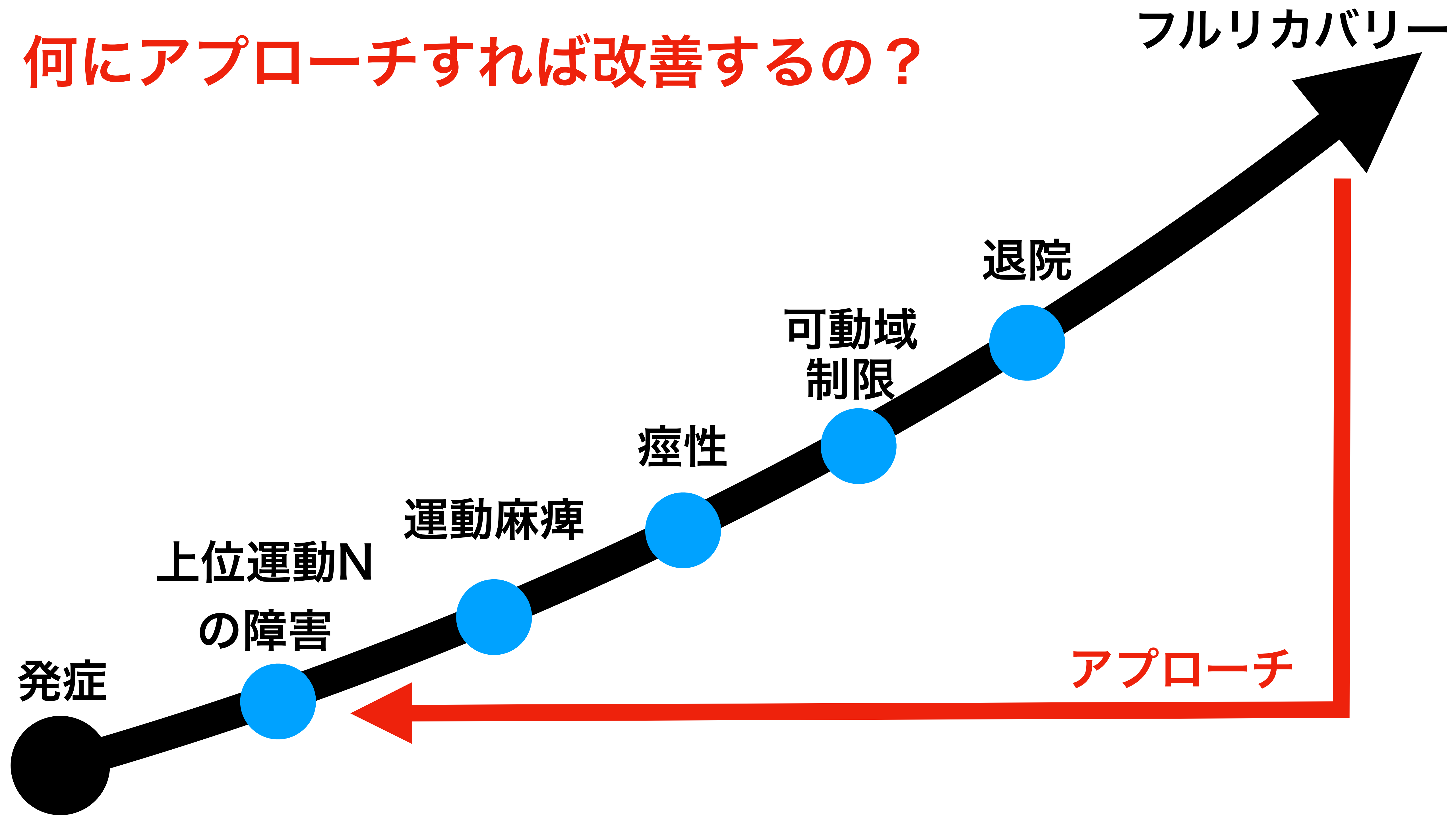
痙性

運動麻痺

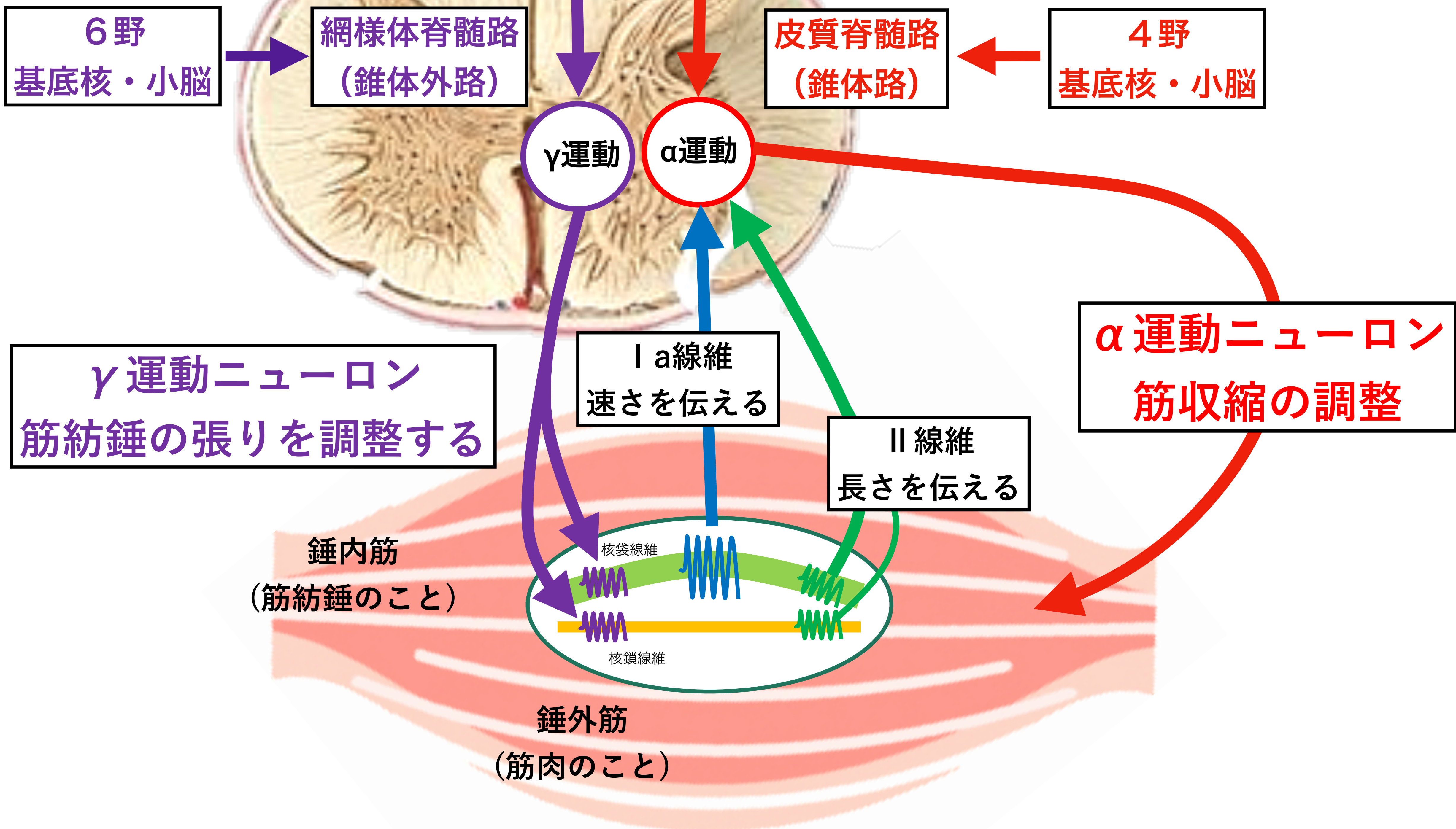
上位運動N
の障害

発症

アプローチ



運動麻痺・痙性どんなアプローチが必要



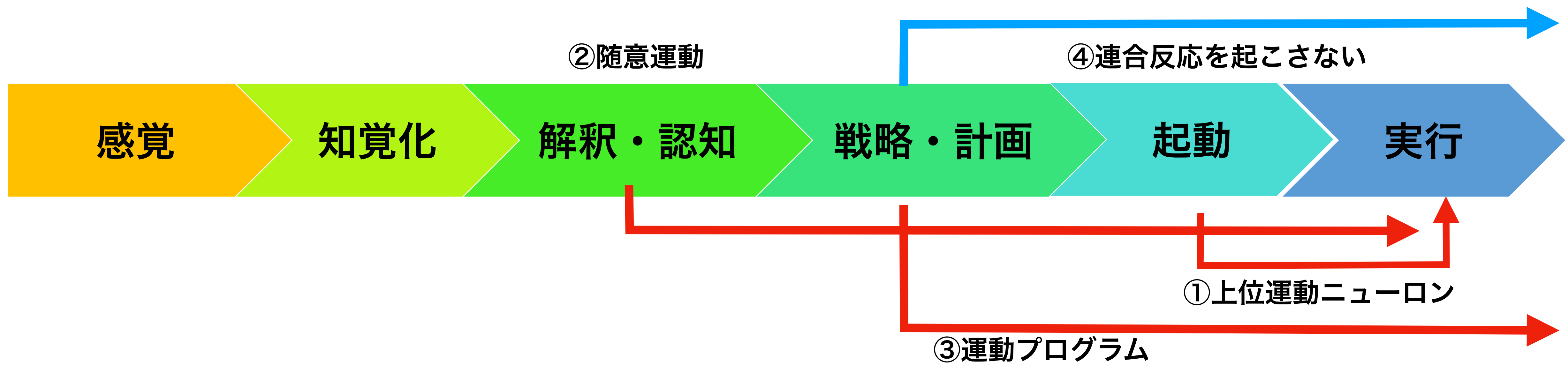
運動麻痺・痙性どんなアプローチが必要

①上位運動ニューロンを正常に働かせること

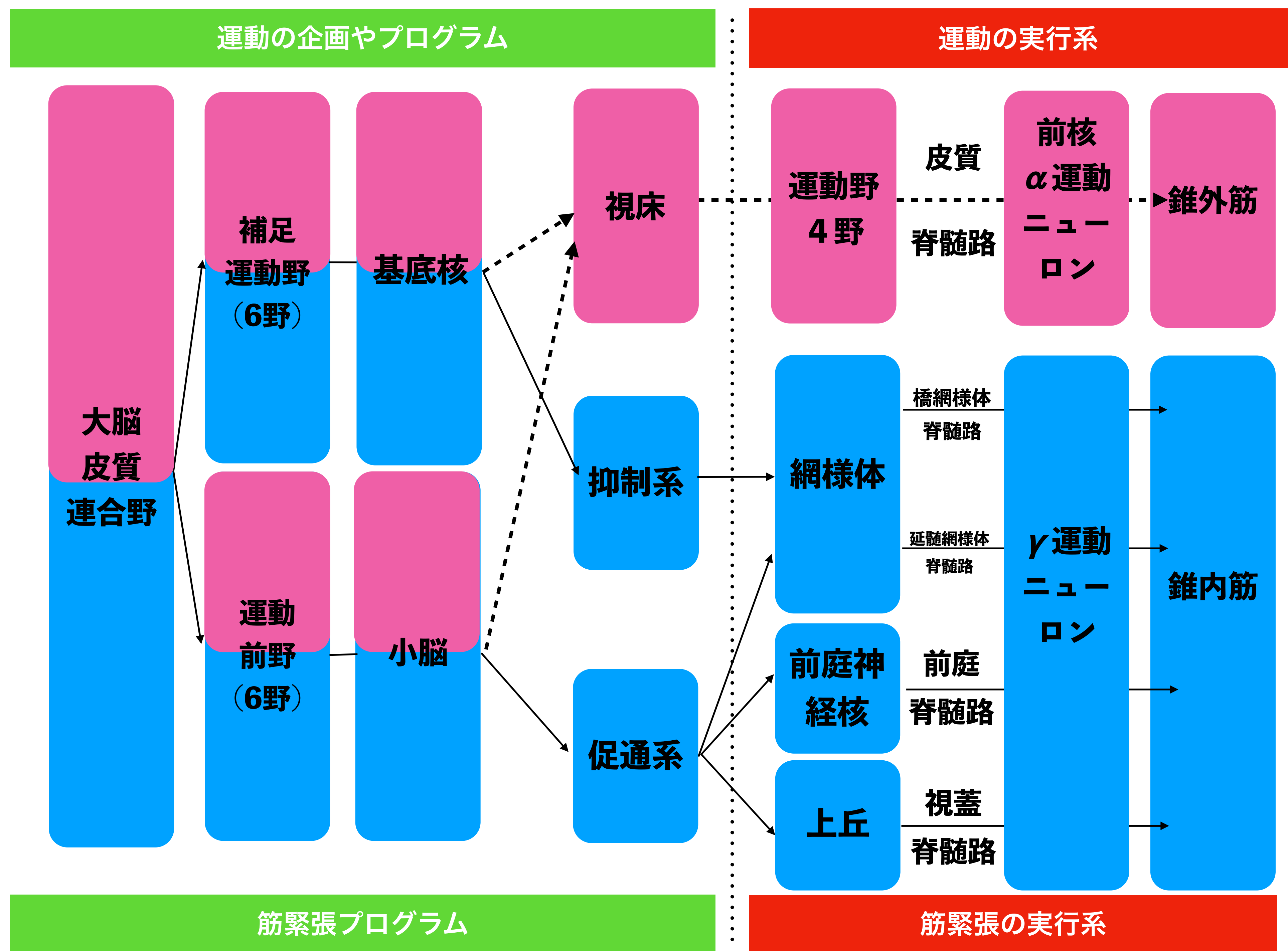
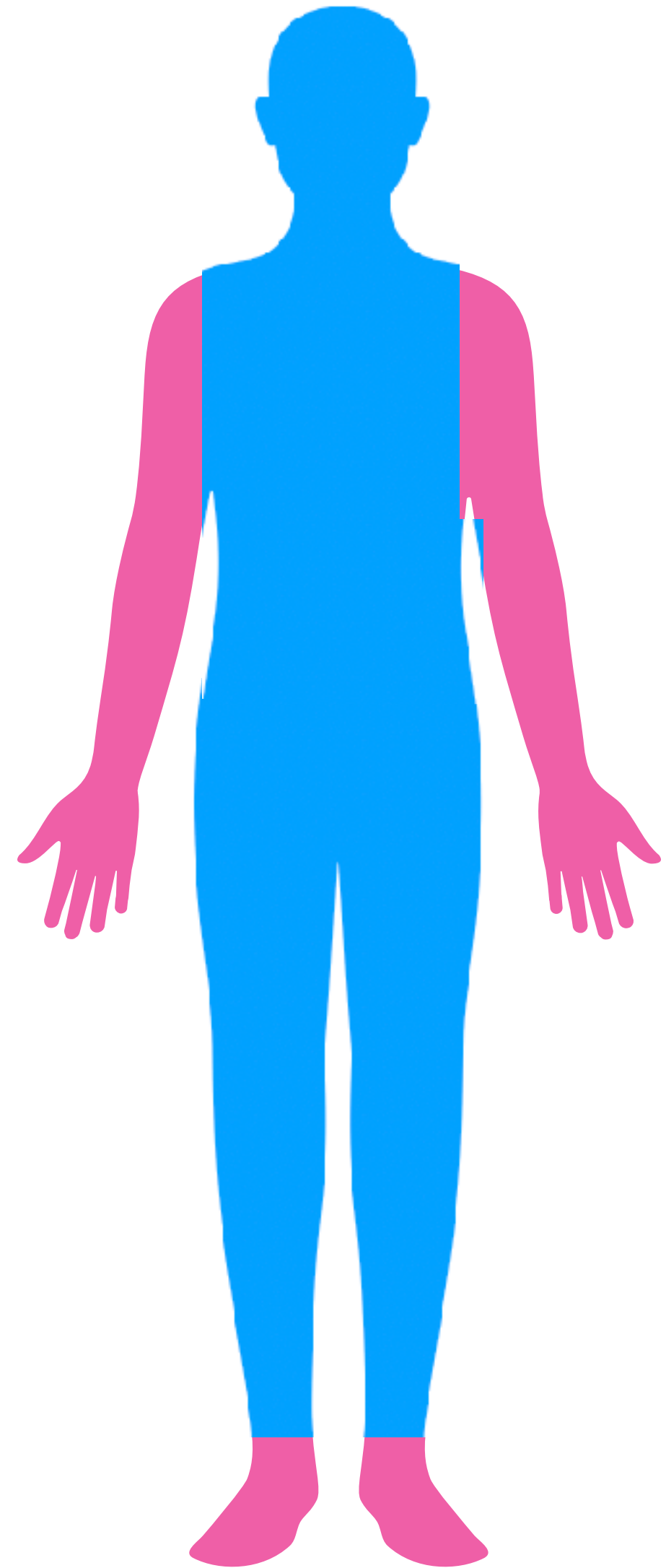
a随意運動を起こすこと→皮質脊髓路・前角・ α 運動ニューロンを働かせる

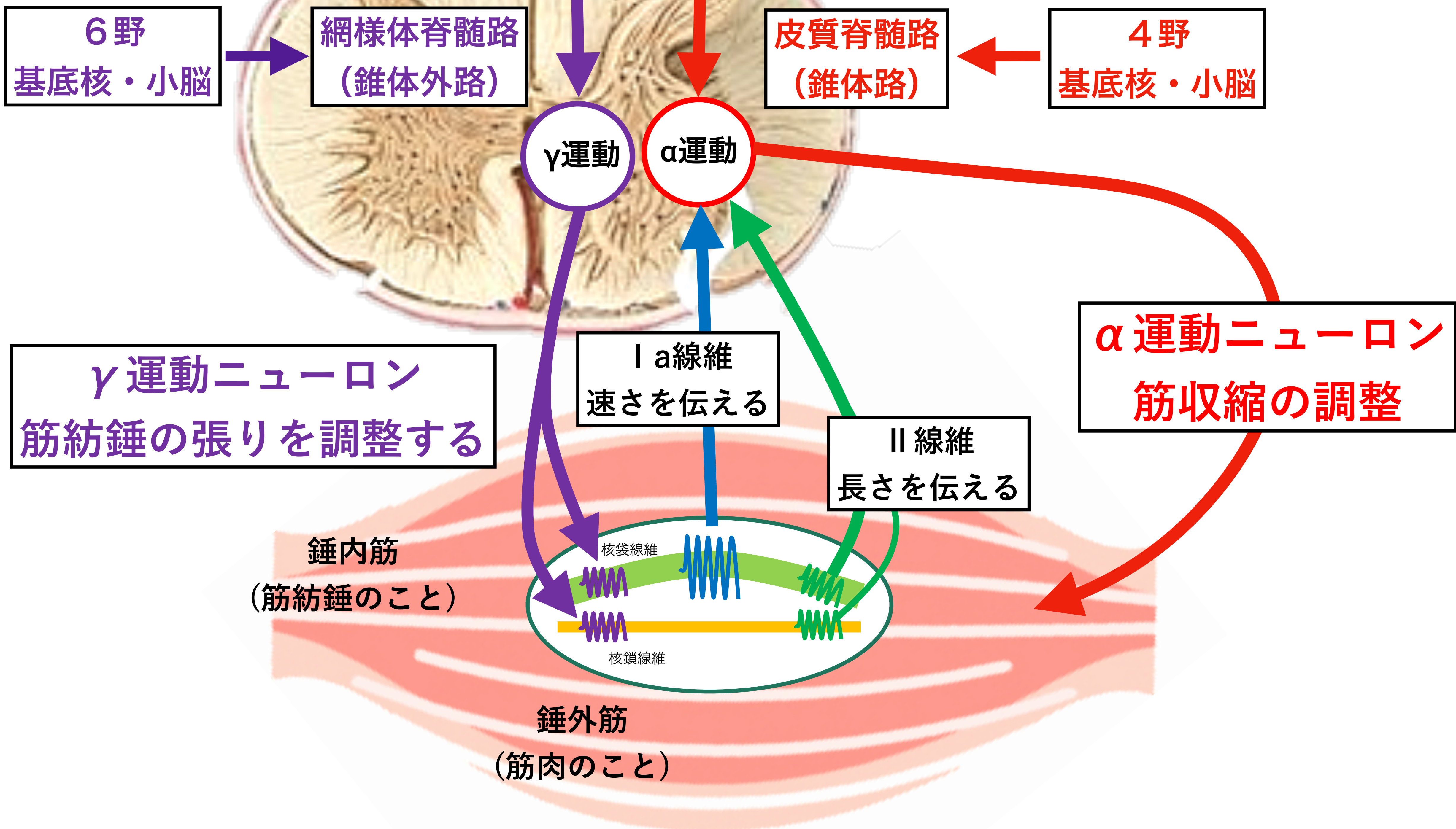
b随意運動を誘発することで、運動プログラム（6野）の変更を行う

c連合反応を起こさない（非麻痺側のネットワークと伝達を作らないこと）



筋緊張を 管理する神経機構





どの筋肉からアプローチするか？

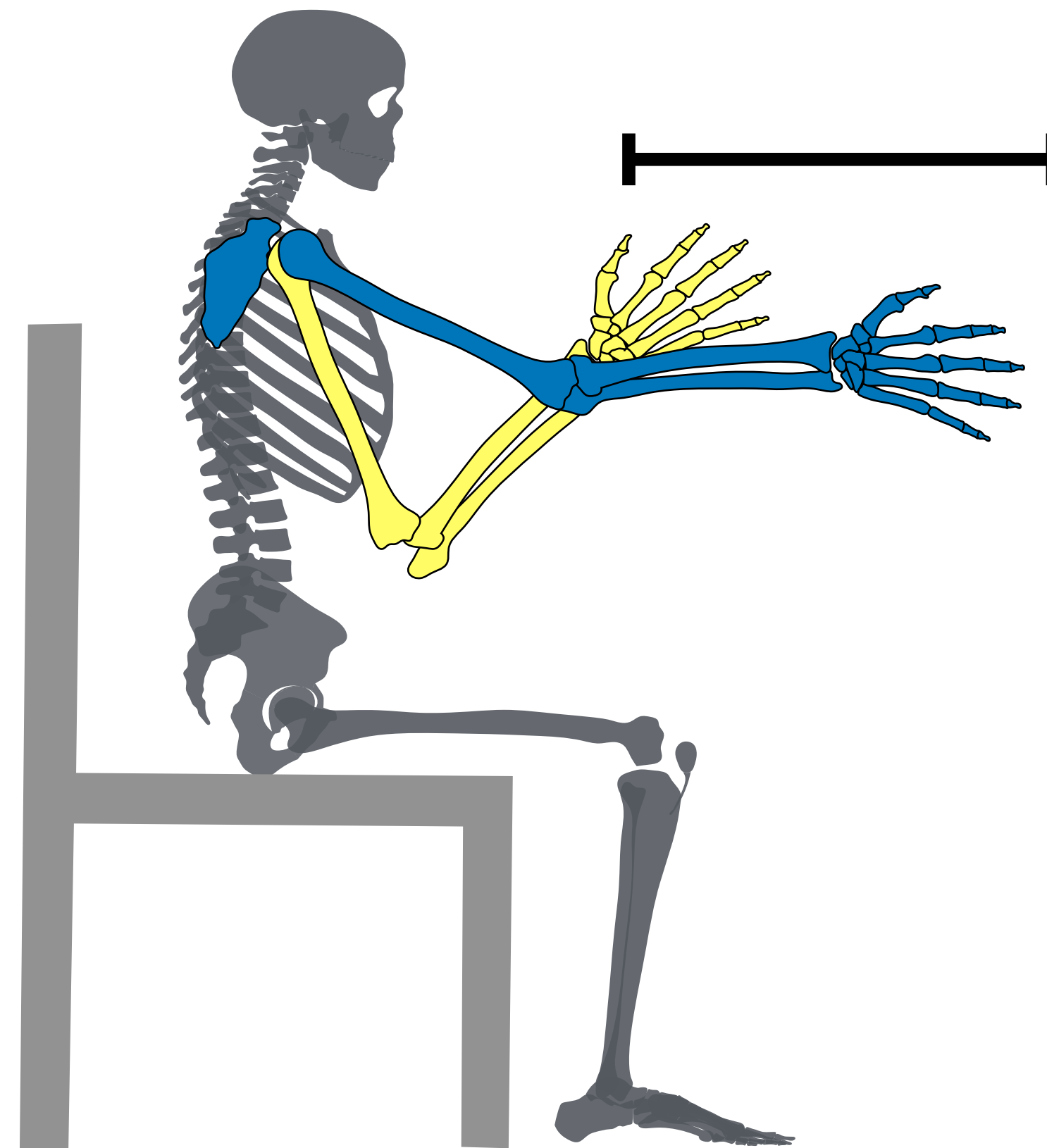
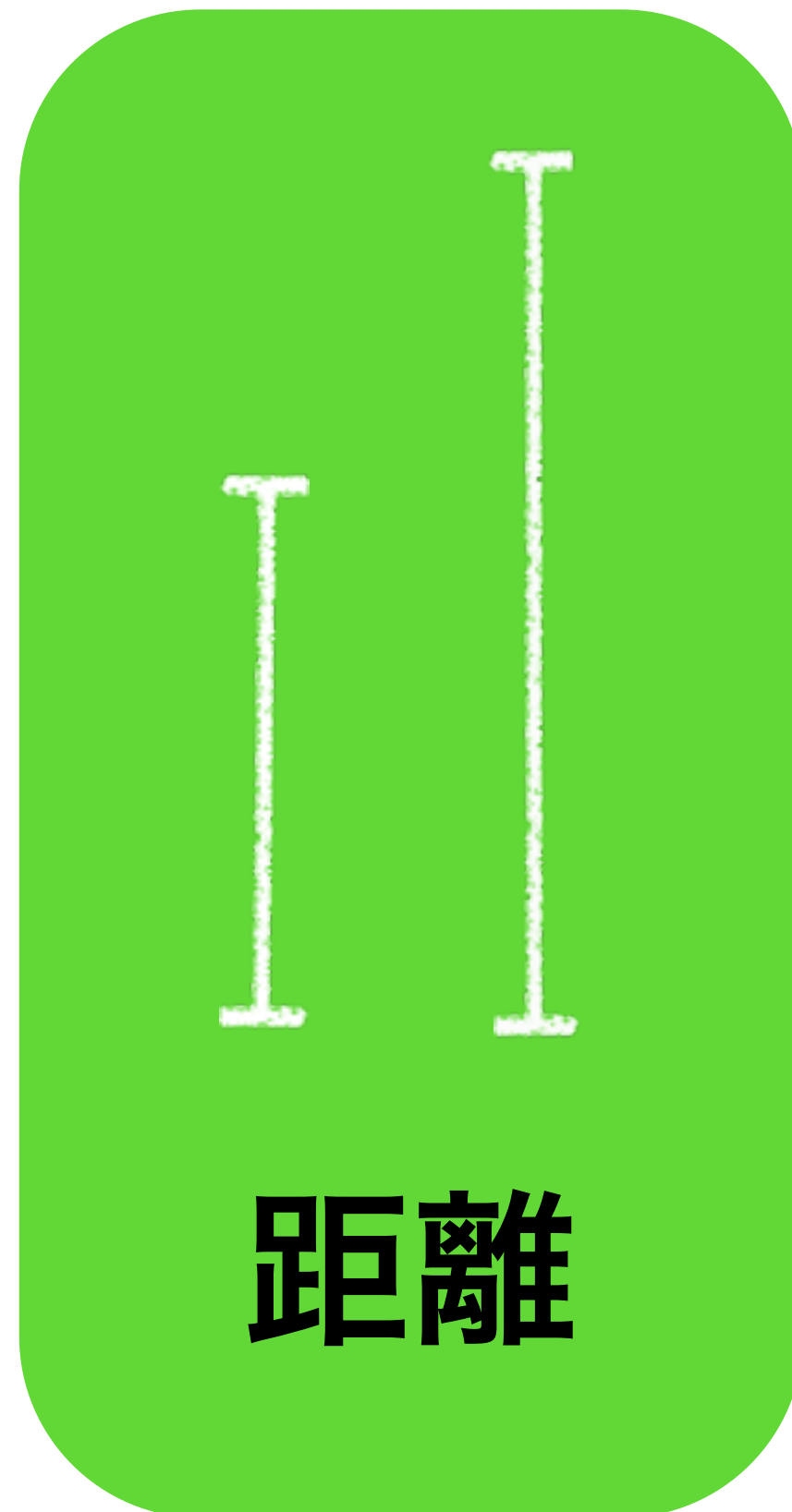
各関節の役割から考える

肘関節

各関節の役割から考える

肘関節

距離を調整している



各関節の役割から考える

手指

各関節の役割から考える

手指



操作



各関節の役割から考える

前腕

各関節の役割から考える

前腕



傾き

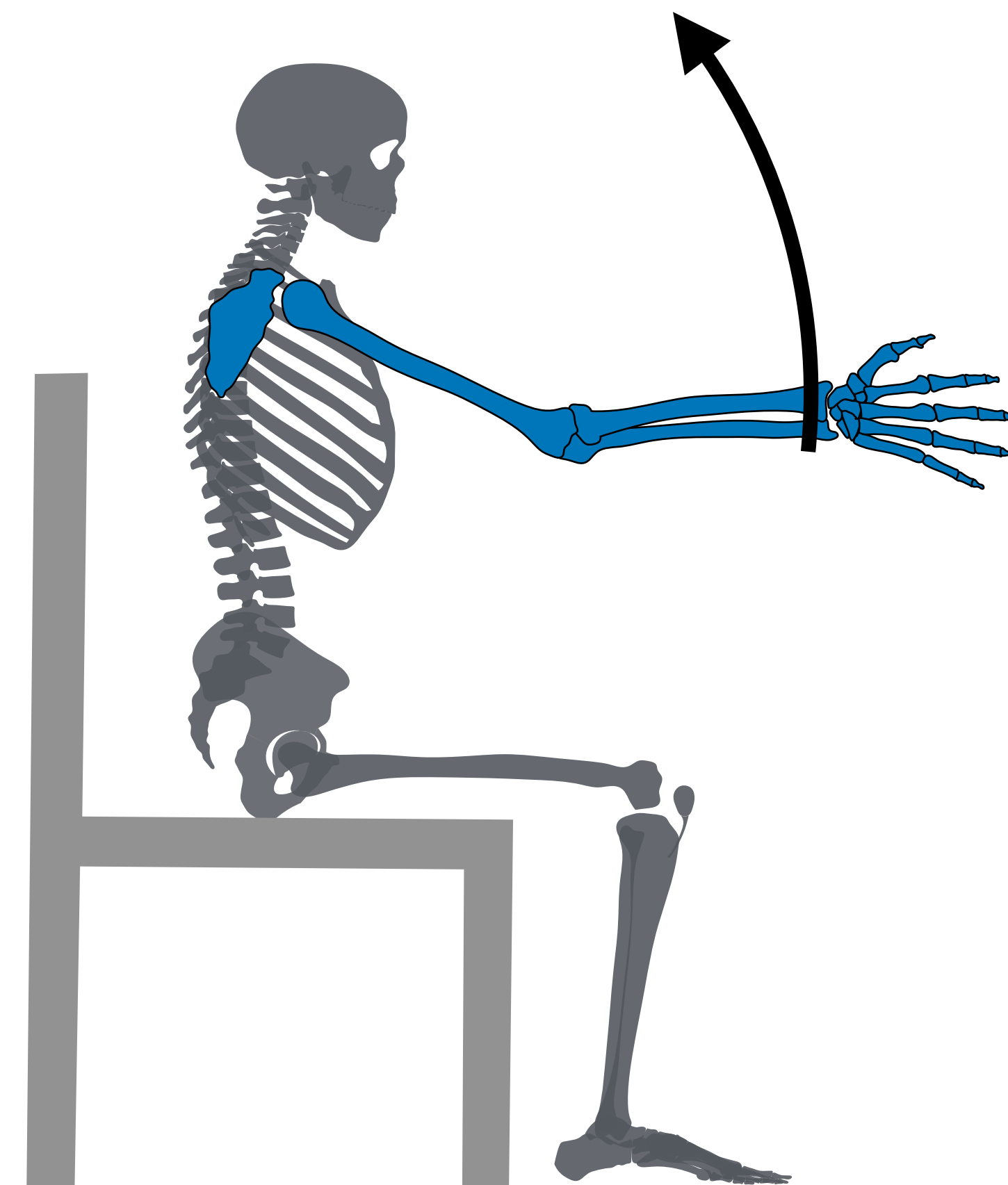
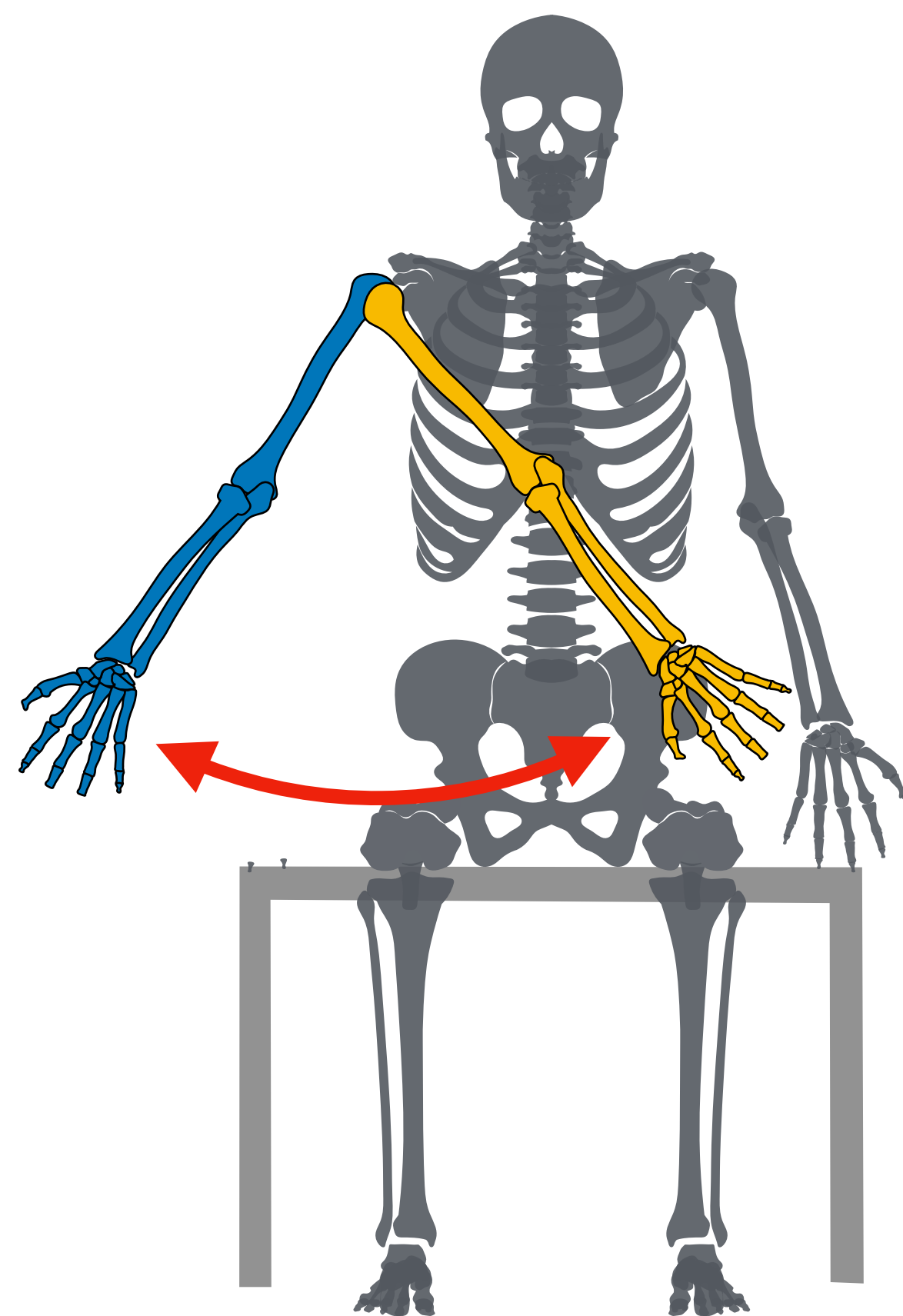


各関節の役割から考える

肩関節

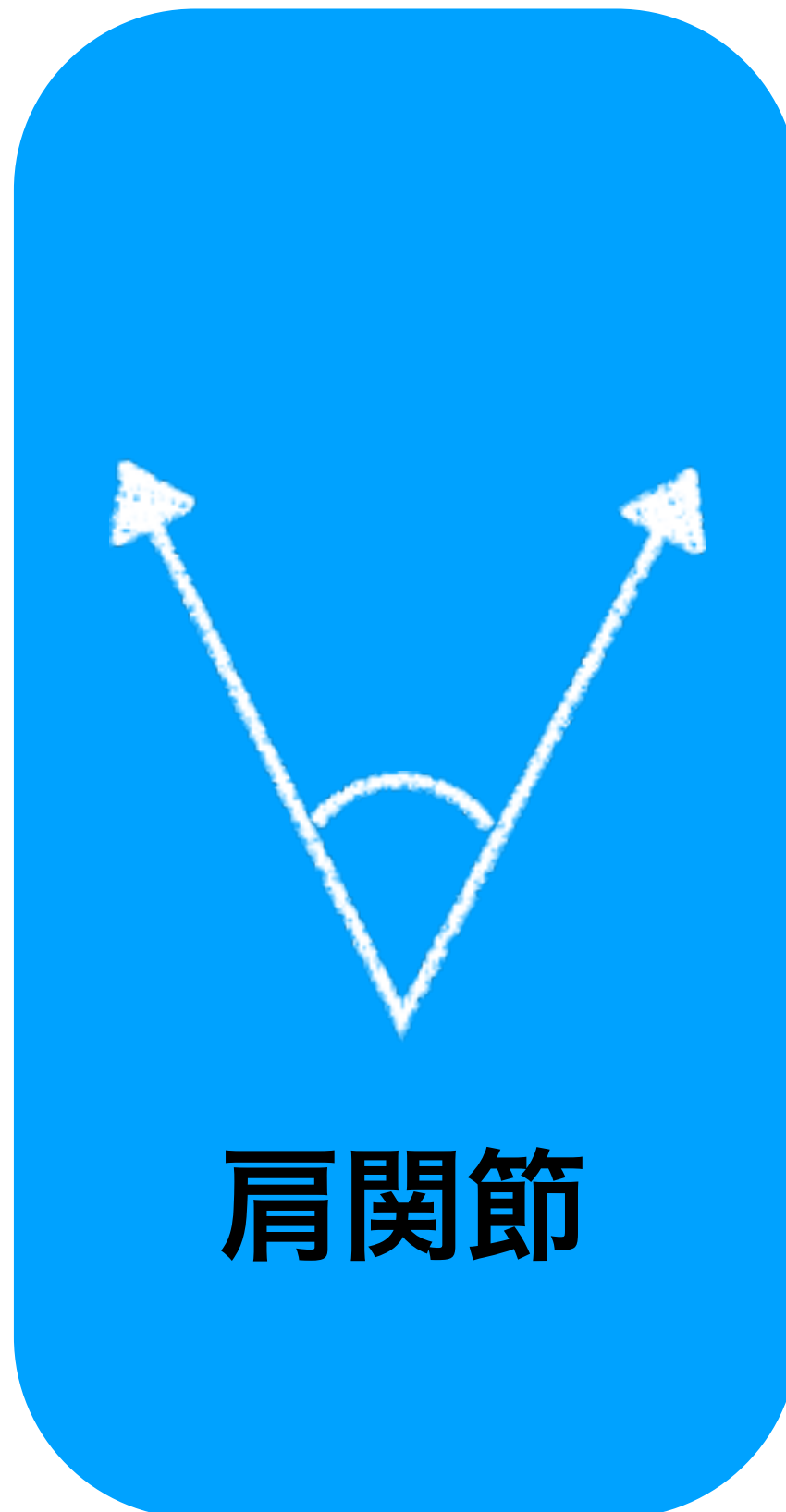
各関節の役割から考える

肩関節



リーチをみるポイント

方向



距離



傾き



操作



ADL獲得ランキング

食事編（右側） どの動きがないと一番困る？

関節ランキング

- ① 肩関節
- ② 肘関節
- ③ 前腕
- ④ 手関節
- ⑤ 手指（母指）
- ⑥ 手指（母指以外）

肩関節 ランキング

- ① 屈曲
- ② 伸展
- ③ 外転
- ④ 内転
- ⑤ 内旋
- ⑥ 外旋

肘関節・前腕 ランキング

- ① 屈曲
- ② 伸展
- ③ 回内
- ④ 回外

手関節・手指 ランキング

- ① 掌屈
- ② 背屈
- ③ 母指
- ④ 母指以外

リハビリ時間ADL獲得ランキング

食事編（右側） どの動きがないと一番困る？

関節ランキング

① 肩関節

② 肘関節

③ 前腕

④ 手関節

⑤ 手指（母指）

⑥ 手指（母指以外）

肩関節 ランキング

① 屈曲

② 伸展

③ 外転

④ 内転

⑤ 内旋

⑥ 外旋

肘関節・前腕 ランキング

① 屈曲

② 伸展

③ 回内

④ 回外

手関節・手指 ランキング

① 掌屈

② 背屈

③ 母指

④ 母指以外

どんな評価・アプローチをすれば良い？

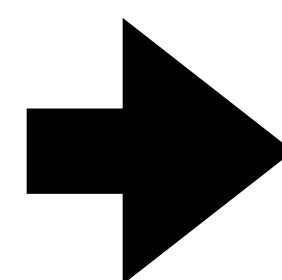
ランキング トップ4

①母指の内転・対立

②肘関節の屈曲・回外

③手関節の掌屈

④肩の外転・外旋



運動麻痺→随意収縮

関節運動ができるのか？

＊共同運動・連合反応

アプローチ→随意運動

痙性→弛緩・伸長

収縮ののちに弛緩があるか？

＊反復運動

アプローチ→随意運動からの弛緩

どんな評価・アプローチをすれば良い？

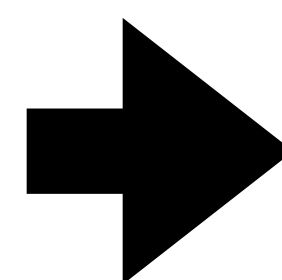
ランキング トップ4

①母指の内転・対立

②肘関節の屈曲・回外

③手関節の掌屈

④肩の外転・外旋



運動麻痺→随意収縮

関節運動ができるのか？

＊共同運動・連合反応

アプローチ→随意運動

痙性→弛緩・伸長

収縮ののちに弛緩があるか？

＊反復運動

アプローチ→随意運動からの弛緩

アプローチのステップ

ゴール ①非麻痺側の方へのリーチ ②肩の外転
③肩関節の内外旋 ④上肢挙上

①肩関節の外転評価→ 制限あり：大胸筋の痙性 内転運動

②肩関節の随意運動外転評価→ 60度以上挙上のための三角筋中部線維の評価 随意運動

③肩関節の内外旋→ 腱板のコントロールと上肢挙上制限の予防

④肩屈曲→ ①肩の挙上代償→肘屈曲位での挙上 ②亜脱臼などの弛緩性→屈曲位保持からの遠心性収縮

⑤弛緩→ ①収縮後の弛緩チェック 可動域拡大（伸長反射制御可動域）